

(様式1)



山口市

報道資料

令和4年10月4日

1 件 名	第2回「エシカル給食」の実施について
2 日 時	令和4年10月14日(金) 12時10分～13時00分
3 場 所	山口市立仁保小学校
4 内 容	<p>山口市においては、有機農業の取組面積の拡大や安定的な販路の確保等を目指し、今年度から、仁保地域の小中学校をモデル校とし、環境に配慮した学校給食の取組を推進しています。</p> <p>実施にあたりましては、山口市有機農業推進協議会と連携し、児童生徒の皆さんに、「環境にやさしい食べ物」や「食べ残しゼロ」、「地産地消」、についての理解を深め、未来に向けたエシカル消費を進めるため「エシカル給食」として取り組むことといたしました。</p> <p>つきましては、本趣旨を御理解の上、取材いただきますよう御案内申し上げます。</p> <p>◆当日の献立 ごはん、牛乳、豆腐入り変わり卵焼き、酢の物、みそ汁 主な産地 ・うるち米(山口市産イセヒカリ) ・きゅうり、なす、西洋かぼちゃ、小松菜(山口市産) ・卵(山口市産) ※このうち、米と野菜は、山口市有機農業推進協議会会員等による化学肥料・化学農薬不使用の食材となります。</p> <p>◆当日のスケジュール 12:10 4時限目終了 12:10～ 給食準備、準備が整ったクラスから給食開始 12:25 お昼の放送(児童による献立紹介) 12:30 エシカル給食についてZOOMによるお話(児童は各クラスのモニターで視聴) ・松崎 裕子栄養教諭 ・山口市有機農業推進協議会会員 12:50～ 片付け</p>



山口市

◆参考

国においては、農林水産業の生産力向上と持続可能性の両立を目指すための中長期的な政策方針として、「みどりの食糧システム戦略」を策定し、2050年までに目指す姿として化学農薬の使用量を50%低減、化学肥料の使用量を30%低減、また耕地面積に占める有機農業の取組面積を25%の100万ヘクタールに拡大する等の目標を掲げており、本市においてもこの方向性のもと、県や関係団体と連携し、取組を進めることとしています。

※1 回目は令和4年6月16日に実施。コロナ禍でもありましたので、報道の皆様にご案内をいたしますのは今回が初めてとなります。

◆主催：山口市、山口市有機農業推進協議会

5 出席者	市長、教育長、議長、山口市有機農業推進協議会会長ほか
6 問い合わせ	山口市農林水産部農業政策課 神足(こうたり) TEL 083-934-2817